

□■□ヤギとイチョウと学ぶ学校□■□
しただの郷学園 三条市立笹岡小学校 学校便り

第11号



笹岡っ子



令和2年2月25日
三条市中野原 329
TEL(0256)46-2024
FAX(0256)41-2660

HPも随時
更新中



支え押し出す手、励まし勇気づける言葉

全校なわとび大会を行いました。個人で挑戦「短なわの部」と、縦割り班で取り組む「長なわの部」があります。体育の授業はもちろん、25分の休み時間は業間なわとびタイムとして練習を続けてきていざ本番です。

なわとび運動に取り組む子どもたちの様子を見ていると、いつもあたたかい気持ちになります。冬の季節に体を動かして体力をつける以上の価値を感じるのです。

長なわとびのチャンピオンチームを表彰しました。今回は、跳べた数のチャンピオンと合わせて、「努力賞」を表彰しました。子どもたちに、どこのチームが「努力賞」になるか投票をしてもらい決めました。こんな理由を子どもたちが記しています。

「今日の本番で1回目より2回目の方が記録が伸びていて、「ドンマイ」「ナイス」などいい声掛けをしていた。ミスをしてでも責めずに笑っていていい雰囲気だったから。」

「6年生が、昼休みに、『練習する?』と聞いていてやる気を感じた。苦手な人が多くて、何度も先生に相談していて、よくしたいという気持ちが伝わったから。」

「とんだ数は少なかったけど、苦手な人もとべるようになっていたし、練習の声もいつも大きかったから。」

上級生からなわに入るタイミングを教えてください。背中を押してもらいます。跳べたらほめてもらい、跳べなくても励ましてもらえます。上級生が跳ぶのを見ながら跳ぶコツを身に付けています。上級生の姿にあこがれをもって下の学年の子は見ています。そして何よりも、お互いの頑張りを評価できる「大切な目」を笹岡の子はもっています。なわとび大会は、子どもたちの心を育む大切な行事です。

コミュニティ・スクール発足記念 笹岡を語り合おう 「絆～人とのつながり」 1/28 (火)

檜山の〇〇〇〇さんから「人とのつながりが地域を明るくする」をテーマに話題提供をいただきました。その後、地域の方、保護者と教職員で「絆～ひととのつながり」について感じていることを語り合いました。

〇〇さんのお話 (概要)

□笹岡と野球□

子どもが多くいた時代。1 教室 60 人もいて話も聞けないような状態で、ほとんどが野外授業であった。家にいると、手伝いをしなければならなかったため、学校は楽しい場所であった。

当時の子は、運動をあまりしていなかったため、学校医の渡辺先生の「野球をさせたらどうですか」の一声で下田の野球チームの魁として笹岡野球チームが結成された。用具一式やユニフォーム等、渡辺先生の寄付でしっかりそろえ、他のチームからあこがれの的となった。下田に野球場ができたのは昭和 57 頃で、渡辺先生より 2 面分の土地の寄付があり完成させた。千人の署名をもって村長に掛け合いナイター設備も完備させた。指導者は、平日は学校職員、土日は地域の人と野球に明け暮れた。



□笹岡小の校舎移転□

笹岡小の老朽化が進み、平成の初めころ、新しい場所の候補地として 3 か所ほど上がった。現在の笹岡小の場所は、下組～下原のちょうど中間地点にあたり、高台でよい場所ということで決定した。笹岡小のシンボルである銀杏の木 2 本を何とか移動してほしいと陳情したが難しいということで、それではせめて校舎に銀杏の印をつけてくれということで、銀杏の葉が刻まれた。また、銀杏の苗木を育てグラウンドに移植した。

□檜山、そして自分□

檜山は昔から季節の行事を立ち上げている。夏の盆踊りでは、はじめは民家の庭でドラム缶 2 本の上にコンパネを敷き、太鼓を上げたところからスタートした。部落全員で行う秋餅は今も続いている。最近では「1 本桜」。栃木まで出向き購入した。

ひまわり会・老人会等、精力的に活動している。若いころ野球に挫折し卓球を志したことが、後の人生に大きな影響を与えた。それは、各種社会体育団体等、様々な関係の人とつながることができ、人脈が大いに広がった。その一環で国体招致の際、下田にカヌー会場を実現させた。絆を深めるためには、自ら積極的に関わる。自分も楽しむことが大事である。そして、後ろを振り返らず、目の前のことに一所懸命に取り組んできた。

グループでの話題 (抜粋)

希薄になった地域のつながり。しかし、スープが冷めないくらいで密な関係を押し付けるのはどんなものか。個でいろいろ活動できる時代である。昔は情報が少なく、近所のおじさん・おばさんが「頼る人」。今はタブレット・ネットで情報過多の時代。体育会系のように「なんで来ないの」「行かないと…」強制感は重荷になっていく。サークル活動のようなサッと集まり話し合う活動できるくらいの人間関係の方が今の時代に合っている。されども最低限の絆は必要。これがないといざというとき動けない。地域の助けがあって笹岡は成り立っている。



あいさつや年長者のお世話を子どもたちは自然にやっている。笹岡の子は朝の挨拶がよい。人と仲良くするために必要。コミュニケーションの始まり。家の中からあいさつが大切。大人からどンドン声をかけようねと呼びかけている。声掛けが不審者と思われる時代だが、子どもから「〇〇の人だ」と覚えてもらうことができ、いつも見てもらえていることを子どもに実感させることにつながる。

新入生と1年生との交流会 2/10(月)



来年度の新入生の体験入学を行いました。

保護者の方が学校説明を聞いている間、1年生が新入生のお相手をしてくれました。塗り絵や迷路、お名前書きなどの課題プリントを教えました。

一年過ぎるとこんなに立派なお兄さんやお姉さんになります。1年生が頼もしく見えました。



不審者対応避難訓練 1/31(金)



三条警察の方をお招きして、不審者対応の避難訓練を行いました。

まずは、教室に不審者が入ってきた際の職員の動きを職員研修としてご指導いただきました。

次に、子どもたちの指導です。

「下田庁舎はどちらかな？」

→「向こうです」

「よくわからないから、一緒に行ってくれないかな」

→「嫌です」「できません」

いざというときに大声を出して助けを求めたり逃げたりできるか、全員が実際にやってみました。

警察の方から、子どもたちが真剣に取り組んでいたとほめていただきました。

栄養士・調理師さんとの会食会 1/24(金)



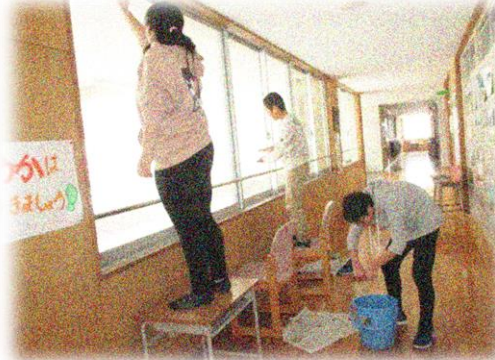
下田調理場から、献立を考えてくださる栄養士さんと、給食を作ってください調理師さんをお招きしての会食会を行いました。

毎日の給食で当たり前になり気に留めることはすくないですが、この会食会を通して自分たちの給食を見直すことができました。

6年生ありがとう



6年生を送る会に向けて、1・2年生が似顔絵を描きました。嬉しそうな6年生の表情が印象的でした。2/4(水)の6年生を送る会が楽しみです。



6年生はお世話になった校舎への感謝の気持ちを清掃で表しました。普段は気に留めない窓のレールなど、隅々まできれいにしていました。



6年生が下学年と一緒に遊ぶ時間を持ちました。朝の時間を使ってミニ運動会で楽しみました。全校のみんなが6年生大好きです。



ヤギのひとり言

おめでとう

◇三条市幼・小・中美術展◇

1年 ○○ ○○ さん 2年 ○○ ○○ さん

3年 ○○ ○○ さん 4年 ○○ ○○ さん

5年 ○○ ○○ さん 6年 ○○ ○○ さん

◇新潟県硬筆書き初め大会◇

準特選 2年 ○○ ○○ さん

今年度も残すところ一ヶ月です。

6年生の小学校生活もカウントダウンです。6年生を送る会に向けて、それぞれの学年で準備を進めています。6年生の表情や話す言葉、振る舞いを見ていると、ラストスパートへの思いが高まってきているように感じます。

6年生だけでなく、全校の一人ひとりの子どもたちが、自分の一年間の成長を実感できるように学年のまとめをしていきます。

3月の予定



3/4(水)	6年生を送る会 13:10~	19(木)	授業5限後下校 給食最終
	6年生保護者:卒業に感謝する会	23(月)	第3学期終業式 10:55下校
	学校運営協議会		卒業式練習③
5(木)	音楽朝会		5年生:式場準備手伝い 12:00下校
	PTA 評議員会・新役員会	24(火)	卒業証書授与式 11:20下校
9(月)	地域子ども会(5限)	25(水)	離任式 9:30下校
11(水)	4・5年生:委員会活動(最終)		学年末休業~4/5(日)
12(木)	音楽朝会	令和2年度	
13(金)	卒業式練習①	4/6(月)	第1学期始業式
15(日)	PTA 奉仕作業 会計監査	7(火)	入学式
17(火)	卒業式練習②	17(金)	授業参観 PTA 総会